

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 福山歯科衛生士学校
設置者名	一般社団法人 福山市歯科医師会

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	歯科衛生科	夜・通信	85 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/07/01-2.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校 福山歯科衛生士学校
設置者名	一般社団法人 福山市歯科医師会

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営委員会
役割	学校運営委員会を年2回（4月・3月）開催し該当年度の教育方針・教育計画、予算決算、学生の定員、募集について協議承認する。また、学則その他諸規定の制定・改廃に関することなど必要に応じ委員会を開催し協議承認する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	（一社）福山市歯科医師会 会員
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 福山歯科衛生士学校
設置者名	一般社団法人 福山市歯科医師会

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画の作成基準 担当講師は授業の目的・方法・時期・時間・使用教材・評価方法・授業内容・到達目標を定める。</li> <li>・ 授業計画の作成・公表時期 10月の職員会議にて翌年度の学校行事等を踏まえ時間割及び授業計画を概ね11月～1月の期間に作成依頼し、3月下旬に公表する。</li> </ul>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p><a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_1.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_1.pdf</a>  <a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_2.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_2.pdf</a>  <a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_3.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_3.pdf</a>  <a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_4.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/02_4.pdf</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単位の認定の方針について 単位修得認定は、講義・実習等に必要な時間の取得状況と当該科目の評価により行う。ただし、次の各項の条件を満たさなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学業成績の評価は、優・良・可・不可の4種類をもって表し、優・良・可を合計とする。</li> <li>2. 欠席日数が当該学年の授業科目の3分の1をこえるときは進級又は卒業を認めない。</li> <li>3. 前期試験・後期試験の成績をもって進級の及落を判定する。学生の在学期間は6ヶ月を限度とする。</li> <li>4. 欠席日数が当該学年の出席すべき日数の3分の1以内であり、各学科及び実習に係る出席時間数が指定規則に定める時間数に満たない者については、必要な補修を行ったうえ、進級または卒業を認める場合がある。</li> </ol> </li> </ul>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>履修科目の成績評価（前期試験・後期試験）を点数化（1科目100点満点）し、該当学年の全科目の合計点から1科目平均値を算出し、その点数をもとにクラス内での成績の分布状況を把握している。</p> <p>（例）平成30年度1年生の場合 1年生は39名在籍しており、前期試験・後期試験41科目の合計点から1科目の平均値を算出すると、最高96.2点～最低点71.1点という分布状況であった。内訳は、90点台が6名、80点台が24名、70点台が9名であり、そのうち下位1/4に該当する人数は10名、下位1/4に該当する指標の点数が80.1点以下という結果をもとにクラス内での成績の分布状況を把握している。</p> <p>上記のあらかじめ設定した算出方法により数値を算出し公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/07/03-2.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/07/03-2.pdf</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育方針である下記の5項目に重点をおき、いかなる立場にあっても、職務を全うできる能力を身につけ、単位の認定の方針に沿い、単位修得の認定を受けた者は教務会議の議を経て卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科診療の場で、診療補助業務が十分できる能力</li> <li>2. 口腔衛生実技に熟達し、その技量を十分に発揮し責任を全うできる能力</li> <li>3. 臨床の場で、患者に対し歯科保健指導が十分にできる能力</li> <li>4. 公衆歯科衛生の場においても現場活動が十分にできる能力</li> <li>5. 常に医療人としての倫理に基づいた行動ができる能力</li> </ol>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/04-1.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/04-1.pdf</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 福山歯科衛生士学校
設置者名	一般社団法人 福山市歯科医師会

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校事務室で閲覧希望者に対して閲覧
収支計算書又は損益計算書	学校事務室で閲覧希望者に対して閲覧
財産目録	—
事業報告書	学校事務室で閲覧希望者に対して閲覧
監事による監査報告（書）	学校事務室で閲覧希望者に対して閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門	歯科衛生科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	109 単位時間/単位	68 単位時間 /単位	2 単位時間 /単位	39 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			109 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人		142人	0人	6人	86人	92人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画の作成基準 担当講師は授業の目的・方法・時期・時間・使用教材・評価方法・授業内容・到達目標を定める。</li> <li>授業計画の作成・公表時期 10月の職員会議にて翌年度の学校行事等を踏まえ時間割及び授業計画を概ね11月～1月の期間に作成依頼し、3月下旬に公表する。</li> <li>単位の認定の方針について 単位修得認定は、講義・実習等に必要な時間の取得状況と当該科目の評価により行う。ただし、次の各項の条件を満たさなければならない。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学業成績の評価は、優・良・可・不可の4種類をもって表し、優・良・可を合計とする。</li> <li>2. 欠席日数が当該学年の授業科目の3分の1をこえるときは進級又は卒業を認めない。</li> <li>3. 前期試験・後期試験の成績をもって進級の及落を判定する。学生の在学期間は6ヶ月を限度とする。</li> <li>4. 欠席日数が当該学年の出席すべき日数の3分の1以内であり、各学科及び実習に係る出席時間数が指定規則に定める時間数に満たない</li> </ol> </li> </ul>

者については、必要な補修を行ったうえ、進級または卒業を認める場合がある。
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>履修科目の成績評価（前期試験・後期試験）を点数化（1科目100点満点）し、該当学年の全科目の合計点から1科目平均値を算出し、その点数をもとにクラス内での成績の分布状況を把握している。</p> <p>(例) 平成30年度1年生の場合</p> <p>1年生は39名在籍しており、前期試験・後期試験41科目の合計点から1科目の平均値を算出すると、最高96.2点～最低点71.1点という分布状況であった。内訳は、90点台が6名、80点台が24名、70点台が9名であり、そのうち下位1/4に該当する人数は10名、下位1/4に該当する指標の点数が80.1点以下という結果をもとにクラス内での成績の分布状況を把握している。</p> <p>上記のあらかじめ設定した算出方法により数値を算出し公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>教育方針である下記の5項目に重点をおき、いかなる立場にあっても、職務を全うできる能力を身につけ、単位の認定の方針に沿い、単位修得の認定を受けた者は教務会議の議を経て卒業を認定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 歯科診療の場で、診療補助業務が十分できる能力</li> <li>2. 口腔衛生実技に熟達し、その技量を十分に発揮し責任を全うできる能力</li> <li>3. 臨床の場で、患者に対し歯科保健指導が十分にできる能力</li> <li>4. 公衆歯科衛生の場においても現場活動が十分にできる能力</li> <li>5. 常に医療人としての倫理に基づいた行動ができる能力</li> </ol>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>履修・生活支援（クラス担任制）、経済支援（特待生奨学金制度、奨学金担当による手続き支援）、就職支援（就職活動支援）</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
51人 (100%)	0人 (0%)	48人 (94.1%)	3人 (5.9%)
(主な就職、業界等) 歯科医院・総合病院			
(就職指導内容) 就職説明会（就職活動の説明、求人票の見方、履歴書の書き方、見学・面接対応）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家資格の取得			

(備考) (任意記載事項)  
「その他」の3名は、自己都合により卒業後に就職活動を希望した者及び進路変更をする者

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
146人	2人	1.4%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生との面談、保護者を交えた3者面談		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
歯科衛生科	200,000円	360,000円	400,000円	実習材料費 110,000円 諸経費 290,000円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
特待生奨学金制度：入学試験および前年度の授業・実習の実績により優秀且つ他の学生の模範となる学生に支給 (各学年2名：1年次 200,000円、2.3年次 300,000円)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/12.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/12.pdf</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会を開催し、歯科医療に関する見識と実務経験を活かし、教育目標に対する取組状況を評価し、その評価結果を次年度の学校運営改善の参考とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 理事
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 会員

歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 会員
歯科医院 院長	2019.6～2021.5	(一社) 福山市歯科医師会 会員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/10-1.pdf">http://www.fdhc.ac.jp/fdhc/wp-content/uploads/2019/06/10-1.pdf</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://www.fdhc.ac.jp/">http://www.fdhc.ac.jp/</a>
--------------------------------------------------------------------------------------------